



人KEN
あゆみちゃん

人権啓発フェスティバル 「ヒューマンフェスタ 2009 さいたま」

庶務課 ☎982・9458
FAX 981・5392

8月は、「人権尊重社会をめざす県民運動強調月間」です。取り組みの一つとして「ヒューマンフェスタ2009さいたま」を開催しますの
で、ぜひ、ご来
場ください。



開設、井上あずみ握手会
「人権尊重社会をめざす県民運動」とは・・・

児童・高齢者に対する虐待、女性に対する暴力、障がい者の方への偏見からの差別など、さまざまな人権問題が増加しています。

また、インターネットを悪用した人権侵害など新たな人権問題も発生してきています。

人権尊重社会をめざす県民運動は、これらの現状に対応し、『すべての県民がお互いの人権を尊重しながら共に生きる社会』を実現するため、県、市町村はもちろん県民総ぐるみで取り組む運動です。

そのほかの事業
● 人権啓発ポスターの掲示
● ラジオスポットCM (FM・NACK5) の実施
● 新聞広告の実施
● 人権教育実践報告会の開催
(東部地区) 8月4日(春) 春日部市民文化会館

③ 国際会議室
▽午前10時～午後4時…人権啓発資料展示、人権相談コーナー

55、FAX 048・830・4718

あなたの周りには偏見や差別は ありませんか? ～人権それは愛～

生涯学習課 ☎984・3563
FAX 984・3562

再就職はしたものの、辞めるに辞められず、妻にも打ち明けられないまま続けていた納棺師という仕事であったが、その仕事に徐々に誇りと生き甲斐を見いだしていきます。

しかし、うわさを聞いた友人からは、「もつとまともな仕事に就け」と言われ、仕事を知られた妻からは、「子どもがいじめられる」「けがらわしい」と家を出て行かれてしまいます。

その後、偶然にも身近な人の納棺をする夫の仕事を目の当たりにした妻は、その誠意を尽くす心のこもった仕事ぶりに、自分が間違っていたことに気づき、理解していきます。

(映画「おくりびと」の1シーン)

あなたは、この映画の光景のような偏見や差別的なことを見たり聞いたたり、また、外国人や障がい者、女性、高齢者などを偏見的な目で見てしまったこと

はありませんか。何のいわれもない偏見や差別を受けた側では、ほんの些細なことでも大きな心の傷となってしまう。

8月は「人権尊重社会をめざす県民運動強調月間」です。

私たち一人ひとりが、人権についてもう一度考え、偏見や差別のない明るい社会にしたいものです。

子供たちの願いを飾り付けました。

市内小中学校の児童生徒一人ひとりが、「人権尊重の明るい社会」になることを願って作ったメッセージを中央公民館ロビーに展示します。ぜひご覧ください。

期間 8月20日(土)～31日(日)

